

札幌市まちづくり戦略ビジョンの概要 (エネルギー関連)

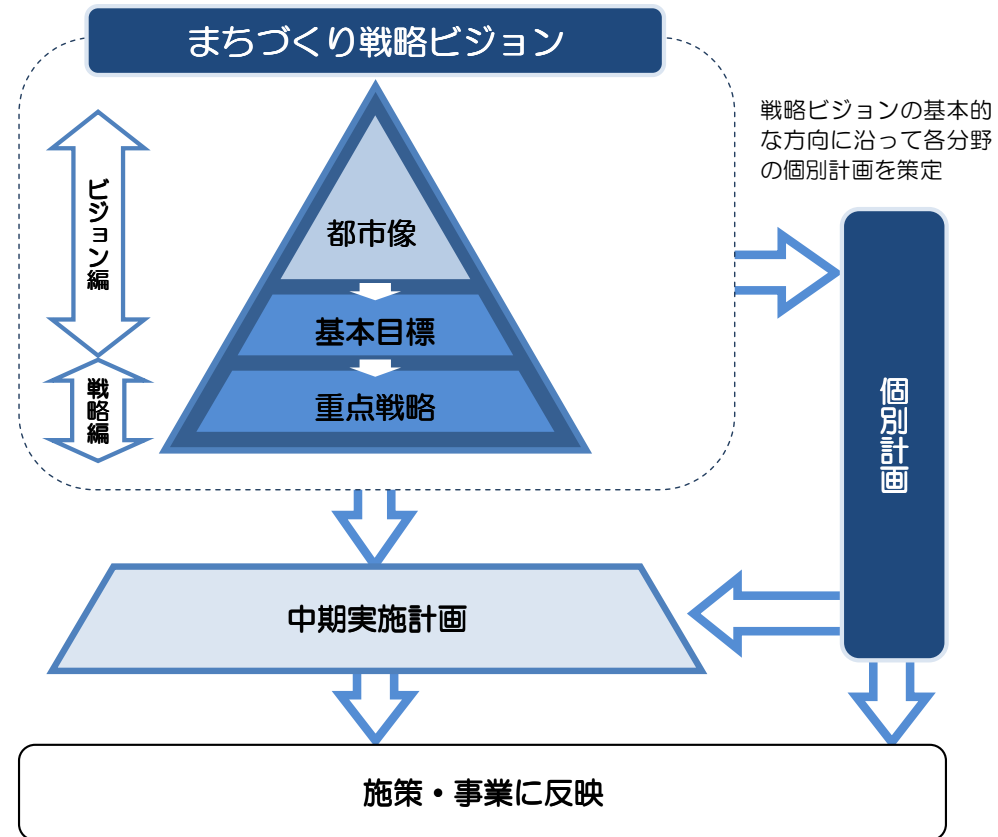
平成25年11月14日

札幌市市長政策室エネルギー政策統括担当部

札幌市まちづくり戦略ビジョンとは

「札幌市まちづくり戦略ビジョン」とは、
札幌市のまちづくりにおける最上位計画です。

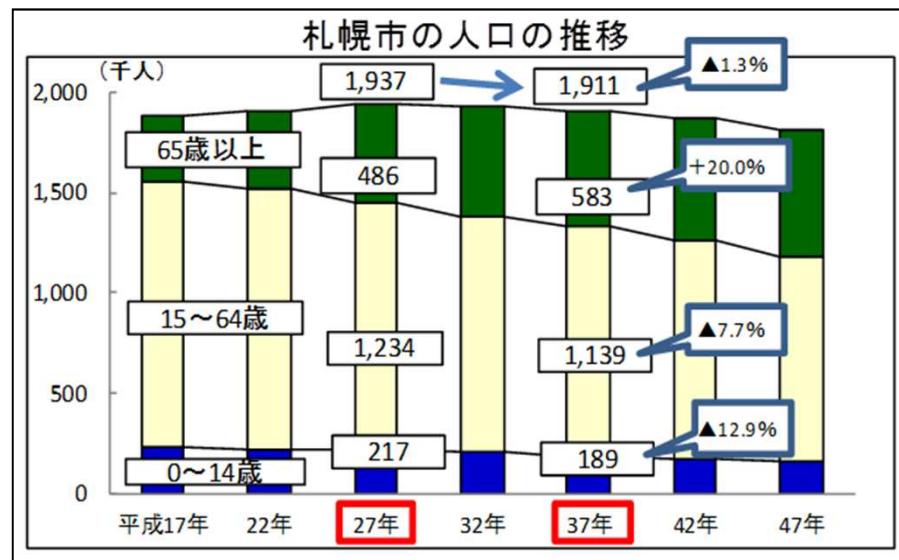
＜ビジョン編＞
平成25年2月策定
＜戦略編＞
平成25年10月策定



計画期間は
平成25年(2013年度)から平成34年度(2022年度)までの10年間です。

「人口減少時代の到来」「東日本大震災の発生」など、
札幌が初めて経験するパラダイムの転換

注釈)パラダイム ある時代において支配的
規範となる「物の見方や捉え方」



市民と共有できるビジョンを策定し、市民と行政が一緒
になって、札幌を活性化させていくことが必要



「札幌市まちづくり戦略ビジョン」を策定

北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち

- 新たな価値を生み出す創造とチャレンジ
- 札幌型ライフスタイルの追求
- 世界の誇る環境首都の実現

先人たちが築き上げた北方圏ならではの都市機能と、北海道の豊富な自然エネルギーを生かしながら、環境負荷の少ない暮らしを追求するなど、低炭素社会と脱原発依存社会を目指した持続可能なまちづくりを進め、世界に誇れる先進的な環境首都を実現します。

互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち

- つながりと支え合いのまちづくり
- 道内市町村との連携と魅力創造
- 世界の中での都市の共生

暮らし・コミュニティ

- 1 地域福祉力創造戦略
- 2 共生社会創造戦略
- 3 地域マネジメント創造戦略

産業・活力

- 4 札幌型産業創造戦略
- 5 都市ブランド創造戦略
- 6 産業人材創造戦略

低炭素社会・エネルギー転換

- 7 低炭素都市創造戦略
- 8 次世代エネルギー創造戦略

地球規模での温暖化の進行や東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、今後、低炭素社会と脱原発依存社会を実現し、先人たちが築いてきた財産を未来に引き継いでいくためには、環境負荷の少ない低炭素型の都市構造を形成していくことが大切です。また、新たな技術などを取り入れたエネルギー政策をまちづくりの中心に位置付け、エネルギー転換や効率的なエネルギー利用を進めていくことが、エネルギーの大消費地である札幌にとってますます重要になります。

1 次世代エネルギーシステムの普及促進

- エネルギー政策に関わる構想などを策定します。
- 先進的なシステムなどの普及を促進します。
- 広域的な再生可能エネルギーの普及を促進します。

2 自立分散型エネルギーネットワークの展開

- 自立分散型エネルギーネットワークの構築を促進します。

3 市民・企業による環境負荷低減の取組の推進

- 環境に優しいライフスタイルへの転換などを促進します。

成果指標	現状値	目標値
太陽光による発電量	0.1億kWh (平成23年度)	4.4億kWh (平成34年度)
分散型電源システムによる発電量	2億kWh (平成23年度)	4億kWh (平成34年度)
電力需要量(北電からの供給電力量)	94億kWh (平成24年度)	86億kWh (平成34年度)

発電量は導入量からの計算値